

臨床検体使用に関するお知らせ

【研究課題名 僧房弁閉鎖不全症例における心筋血流シンチグラフィーによる予後予測能の可能性】

【研究の背景および目的】

左室乳頭筋機能解析は僧房弁閉鎖不全症の予後との関連があることが知られています。しかしながら、心エコーによる評価が一般的で心筋血流シンチグラフィー検査では報告がありません。

そこで、東邦大学医療センター大森病院循環器内科では、僧房弁閉鎖不全症患者を対象とし心筋シンチグラフィーから得られる乳頭筋バイアヴィリティと予後との関連を調査することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、被験者の早期の僧房弁の病態評価が可能となり、早期精査・治療につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2011年～2018年までに東邦大学医療センター大森病院循環器内科において、負荷心筋シンチグラフィー検査と心エコー検査を受け、僧房弁閉鎖不全症と診断された症例を対象とします。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

尚、共同研究者に利益相反状態にある者がいますが、今回の研究は申請者が中心となって企画した研究であり、本研究に関する利益相反に絡む医療情報の調査や得られたデータの解析などは研究実施担当者が合議で進め、お互いにチェックできる体制で行っており、当該共同研究者は単に最終確認を行うものとなっています。この手順により企業との利益相反を回避し、結果公表のバイアスを防止するとともに結果の客観性を保つように配慮しています。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
循環器内科
職位・氏名 助教 橋本 英伸
電話 03-3762-4151 内線 77271